

主な内容

1. 夜景観光振興と節電・環境対策について

〔質問〕昨年10月5日に、香港・モナコ・長崎市の3都市が世界を代表する夜景都市「世界新三大夜景」と認定されたが、現在、長崎市は東日本大震災による電力不足に対する政府方針を受けて、企業・自治体・家庭で節電を取り組んでいるか、今後の対応について



稲佐山山頂より

〔答弁〕長崎市は節電対策として平成23年5月31日に市役所庁内に「長崎市節電連絡会議」を設置して、市民・事業者の方には広報紙やホームページ、

回覧版などにより広報、啓発に加え、企業や事業所の節電対策は、不要な照明の消灯や空調設定などの対策を行っています。市役所では、電力使用量が大きく増加する夏と冬の期間は、数値目標を掲げ、職員一人丸となって節電対策に取り組んでいます。



ライトアップされる「めがね橋」

〔質問〕長崎市はネオン・家庭の灯りで夜景の美しさで構成されていますが、国の方針である環境面から夜景観光をどのように取り組んでいくのか

川6橋のライトアップ設備をLED機器に転換し、従来と比較して約45%の消費電力を削減しました。来年度は、出島のライトアップ設備をLED機器に転換する予定で、他のライトアップ設備も年次的にLED機器へ転換することとしています。

2. 職員によるひとり暮らし高齢者訪問について

〔質問〕群馬県太田市は、市長提案により「ひとり暮らし高齢者見守り」組織を昨年10月1日に立ち上げて、管理職員を中心に400名で結成されて、1班2名体制で月2回の訪問をされていますが、長崎市も取り組む事は出来ないか。

〔答弁〕長崎市の高齢化は、国を上回るペースで進み、平成25年1月末現在の65歳以上の人口は、114,784人で高齢化率は26%となっています。現在、長崎市では、ひとり暮らし高齢者の安否確認事業として、民生委員による友愛訪問を7,600世帯、ごみの戸別収集を行うふれあい訪問収集による安否確認や緊急通報システムによる見守りを行っています。

今後自治会、民生委員など

どの地域の関係者と連携して行く事で、地域における高齢者の見守りや支え合いの支援体制の構築に努めて行きます。

3. 生活保護行政について

〔質問〕厚生労働省から発表された、昨年11月の全国の生活保護受給者数が214万7,303人となり、過去最多となったが長崎市の現状

〔答弁〕平成23年度の月平均の生活保護受給世帯は8,994世帯、受給者は13,149人で、平成20年度と比較すると世帯数・受給者とも約28%と急激な伸びとなっています。

〔質問〕全国的に生活保護の不正受給が増加しているが、長崎市での不正受給の発生状況と防止策

〔答弁〕生活保護法で、就労や年金等の収入は福祉事務所に届け出ることが義務づけられています。申告義務を怠りながら、適正な収入申告を怠り、保護費を過剰に受給したケースがほとんどで、平成22年度は41件・約3,720万円、平成23年度は44件・約4,053万円となっています。不正受給を防止する対策は、「生活保護不正受給防止のしおり」の全世帯配布や家庭訪問、

新規開始時などに説明することにより、収入申告義務の徹底などに取り組めます。

4. 第46回衆議院議員選挙における選挙管理委員会の対応について

〔質問〕昨年12月16日に施行された第46回衆議院議員選挙で最終の終了時間1時間遅れることになりましたが、今回の遅れの原因と対策

〔答弁〕投票所から送致される投票箱等の引き継ぎ作業に時間を要した事や有効決定票の集計および開票立会人による疑問票の効力判定審査に時間を要したためであります。今後は、作業の改良を進めると共に、過去の事例をもとにした再発防止策の検討、他都市の開票事例研究と先進手法の導入、県選挙管理委員会および県選挙管理連合会との合同研究会の開催を予定しています。

Advertisement for K. Itsuwa, including a cartoon character and contact information: 長崎市の都1丁目1444-13 自 宅 0844-9599 生活相談室 0861-19885

委員会の対応について質疑を行いました。

質疑の主な内容は4ページに記載していますので一読をお願い致します。特に、今回の質問で明らかになったことは、長崎市の高齢化は国の平均を上回るペースで進み、65歳以上の人口が26%で高齢者のみの世帯・ひとり暮らし世帯が増加していることでもあります。

現在、長崎市も民生委員による友愛訪問や配食サービスなどにより、ひとり暮らしの安否確認を行っていることは承知しており、民生委員の業務が複雑多忙化している中で、地域における高齢者の見守り体制の強化も必要と思えますが、長崎市の職員も現状を把握し行政として何が必要かを検証することを求めました。

諸課題の解決に努めます

地方議員は「行政に対する監視役」「住民と行政のパイプ役」とどまらずに、地域の方々と政策の全体像や地域社会全体の政策を策定し行政に対して提言する時代となっていますので更なる自己研鑽に努めていきます。

更に、行政や地域の政策課題の改善に努めると共に、市民の代表の名に恥じないよう、諸活動を積極的に行っていく決意です。皆様方には更なるご指導・ご支援をよろしくお願い致します。

長崎市議会議員 五輪 清隆

やさしい街づくり！元気な長崎！

長崎市議会議員

だより いわ 清隆

第 44 号



平成25年4月 発行責任者：五輪 清隆 編集責任者：中山 好文 長崎市水の浦1の1 TEL861-6032



3月4日に多くの傍聴者の中で質問を行う

桜の花も満開に咲きそろう、爽やかな季節となりましたが、皆さまにおかれましては益々ご健勝にて、ご活躍の事とお喜び申し上げます。

希望に満ちた卒業式

今年も3月に長崎市内で挙行された小学校・中学校・高校の卒業式に参列しました。毎年、感じる事は卒業される皆さんは同級生との別れの寂しさと共に、卒業証書を受け取る姿は希望に満ち、保護者や参列者の胸を感動させる光景であります。

ただ気になる事は、高校生で進路が内定していない生徒や保護者は将来への不安を抱えながら複雑な卒業式であったと思います。

卒業生には、まだまだ厳しい時代となっていますが、行政と連携を図り地域企業への支援強化策や雇用を生むような企業誘致等の取り組みを強く思った卒業式でもありました。

本会議で一般質問を行いました

3月4日に5項目、①夜景観光振興と節電・環境対策、②職員によるひとり暮らし高齢者の訪問、③生活保護行政、④長崎市シルバー人材センター登録会員の就業状況、⑤第46回衆議院議員選挙における選挙管理

